

小学校第6学年実践事例

- 1 大単元名 みんなの願いをかなえるために
- 2 本時で求める子どもの姿

衆議院選挙の低投票率問題を切り口として、棄権せず投票することの意味について話し合う活動を通して、主権者として選挙権を行使する大切さを見いだしていく姿

3 本時の主張点

(1) 「ひと・もの・こと」と子どもの間

本大単元では、日本国憲法の理念や三権分立の仕組みを学習した上で、社会的事象と子どもとの距離を近付けるために、子どもたちが経験した東日本大震災からの復興と政治の働きを関連させて単元を構成した。本時では、先月実施された衆議院選挙にかかわって、学年で投票した「選挙権を有していたら投票するか」の意識調査の結果と、実際の選挙における低投票率を問題視する新聞記事を提示する。衆院選挙は、震災復興にかかわり大きな意味をもっている。投票に対する子どもたちの意識と、選挙権を有する大人の投票行動の間のずれについて考えることで、本時の問いへとつなげていきたい。

(2) 子どもと子どもの間

「大単元を貫く学びの視点」を、日本国憲法の理念や原則と自分の生活と設定した。本時では、選挙における投票を通じて、国民主権の原則が反映されていることに気付かせ、間接的に政治参加し、自分の思いや願いを1票に託すことの大切さについて捉えさせたい。そのために「投票しなくてもよい」「投票しても政治は変わらない」等と述べる子どもの考え方を大切に掘り下げていくとともに、若年層の投票率が特に低いことを示す資料を提示し、投票率がさらに低下した際に起きると考えられる問題点を話し合っていく。1票を投じることの意味について全体で考え、同意や反論等の話し合いをすることを通して、棄権せず投票することの意味を深く考えさせたり、考えを見つめ直させたりすることで、将来自分が有する選挙権を行使する大切さに気付かせていきたい。

4 本時のねらい (14/18)

投票率低迷の理由や問題点、投票の意味について話し合う活動を通して、主権者として国民が政治に参加するため選挙における投票が大切な意味をもっていることに気付くことができる。

5 過程

予想される学習活動・内容	○ 教師の働きかけ
<p>(1) 先日行われた衆議院選挙の低投票率が問題視されている事実から、本時の問いをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">どうして投票しない人が多いのかな</p> </div> <p>(2) 投票率が低い理由について考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投票する時間がない ・ 自分が投票しなくても結果は変わらない ・ 政治についてよく分からない など <p>(3) 投票率低迷の事実を踏まえて、投票することの意味を考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">本当に投票しなくてもいいのかな</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の1票では変わるはずはない ・ 面倒だから投票しない ・ 国民が政治のありかたを決める国民主権の考え方から投票すべき ・ 少数の支持で選ばれた政治家に任せるわけにはいかないから投票すべき など <p>(4) 本時の学習を振り返り、自分が成人し選挙権を得た時という想定で社会科物語を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年で行った模擬投票（衆議院選挙の選挙権があったら投票に行くか）の結果を知らせると共に、衆院選の低投票率を問題視する報道を提示し、双方の結果の乖離について考えさせる。 ○ 様々な啓発活動を行っても、投票率の上昇につながらない事実を踏まえ、本時の問いをもたせる。 ○ 衆院選の投票率の推移のグラフを読み取らせ、テレビや新聞の報道や生活経験、家族の会話等を根拠に、投票率低下の背景を考えさせる。 ○ 「投票しなくてもよい」と述べる子どもの考えを丁寧に掘り下げていきたい。投票率がさらに低下した際に起きるであろう問題点や若年層の投票率が特に低いこと等を話し合う中で、投票することの大切さに気付かせていく。 ○ 国民主権の原則を根拠に考えるであろう子どもの考え方を全体に広げることを通して、選挙権を行使することで、国民が政治に参加できることを捉えられるようにする。 ○ 「私が選挙権をもったら」というテーマで社会科物語を書かせる。主権者として自分の考えを政治に生かすことの大切さを捉えている記述を紹介する。



どうして投票しない人が多いのかな

選挙権があったら投票しますか	1組	2組	3組	学年計
投票する	27人 81.8%	24人 75%	25人 78.1%	76人 78.3%
投票しない	6人 18.2%	8人 25%	7人 21.9%	21人 21.6%

戦後最低52%の衝撃

衆議院選挙投票率の推移

衆議院選挙年代別投票率の推移

本当に投票しなくていいのかな？

- 自分の力だけでは変わらない。
- だれいなくても同じ。めんどうだ！

↓

小さな力も集まれば、大きな力に。
自分の考えを政治に生かす。
政治のあり方は、国民が決める → 国民主権

若い人の投票率 特に低い

戦後最底

<投票しない理由>
忙しい、投票しても変わらない、天候(大雪)
健康面、めんどう、政治が分からない、など

<わたしが選挙権をもったら>